

日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会  
定期安全レビュー分科会  
第1回 P S R作業会 議事要旨

日時：2004年4月2日（金） 13:30～16:45

場所：原子力学会 会議室

出席者：（敬称略）

委員 平野〈主査〉，森山〈副主査〉，佐々木〈幹事〉，及川，岡野，榎原<sup>代</sup>(高尾)，三浦，池上，石崎，小林，寺田，竹下<sup>代</sup>(光岡)，吉田，山崎 14名  
常時参加者 梅津，岡島，高野，須田，山本 5名  
事務局 太田

配付資料

- P6WG1-1-1 日本原子力学会標準委員会
- P6WG1-1-2 委員名簿
- P6WG1-1-3 標準委員会規約
- P6WG1-1-4 定期安全レビュー（PSR）学会標準策定の基本方針について
- P6WG1-1-5 PSRの経緯・概要
- P6WG1-1-6 PSRの法制化
- P6WG1-1-7 PSR学会標準案の記載及び策定方針について（案）

議事要旨：

議事に先立ち、事務局より委員14名中代理委員を含め14名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることが報告された。

- 1) 出席委員全員の自己紹介が行われた。
- 2) 標準活動他について  
事務局より標準委員会の概要、運営内規等の説明がなされた。（P6WG1-1-1,2,3）
- 3) 役員選出について  
主査の選出が行なわれ、互選にて平野委員が主査となった（平野委員：13票、森山委員：1票）。主査の指名により、森山委員が副主査に、両者の協議により、佐々木委員が幹事に決定した。
- 4) 人事について  
事務局より、須田，梅津，高野，山本，橋詰，岡島の各氏から常任参加者として申し出のある旨の報告があり、全員を常時参加者として承認した。
- 5) 基本方針（報告）について
  - ・事務局より、PSR学会標準策定の基本方針についての説明がなされ、以下のような議論が行われた。（P6WG1-1-4）
    - ・東京電力のプラントでPSRが妥当との保安院の評価が撤回された理由は？
    - ・故障等発生時の対応、事故・故障等の経験反映状況、保守管理等について事実と照らし合わせると適切でない点があったため。なお、昨年の省令改正でPSRの法制化等を行っており、今後は保安検査において、PSRの実施プロセスが確認される。
    - ・PSAの故障率データについては、各プラントのスペシフィックな値を使うのか？
      - この作業会でもPSR標準に含めるかどうか議論したい。
      - ・IAEA Safety Guide、各国のPSRを参考にしながら議論したい。
  - ・佐々木幹事、岡島常時参加者より、PSRの経緯・概要についての説明がなされ、以下のような議論が行われた。（P6WG1-1-5）
    - ・P6WG1-1-5のp26の「民間基準」という表現は「民間規格」と改めた方が良い。
    - ・「最新の技術的知見の反映」における「知見」の考え方は？
      - 一般的なものを扱うという観点から、プラント間で共通のものを対象としている。
  - 山崎委員より、規制側のPSRの経緯・法制化についての説明がなされ、以下のような議論が行われた。（P6WG1-1-6）
    - ・透明性・客観性を高めるための第三者評価は規制要求か？
      - 規制要求ではない。第三者評価については、当作業会において、今後ご議論頂きたい。
    - ・PSR評価の目的は？
      - 理念としては平成4年の通商産業大臣通達発出時から変わっておらず、PSRの対象プラントが最新のプラントと同等の安全性を確保していることを確認する取組みである。
  - d) IAEAのPSR基準、各国のPSR状況については、主査より森山副主査に調査が依頼された。また、標準の素

案の作成は、電気事業者の委員にお願いすることで了承された。

6) 標準化の進め方、標準構成について

石崎委員より、PSR学会標準案の記載及び策定方針案についての説明がなされ、議論が行われた（P6WG1-1-

7)。今後、以下のとおり進めることとなった。

- ・ PSR学会標準案の記載及び策定方針については、PSR作業会で作りあげ、これが骨子になるため、委員は積極的に意見を出していただきたい。
- ・ 次回の作業会のターゲットは以下のとおり。
  - ① 骨子案の一部作成  
(委員はP6WG1-1-7へのコメントを2週間以内に事務局へ送付する)
  - ② 具体的な標準の記載例について審議する。
  - ③ 標準化にあたり課題となる点があれば審議する。

第2回作業会予定：

スケジュール：

4月下旬または5月上旬

検討内容：

- ・ PSR学会標準案の記載及び策定方針について
- ・ 標準骨子案について
- ・ 標準の記載例について

以上